

ウルトラディープフリーザー
YFZ-1423 メンテナンス説明書

型式：YFZ-1423 三相 AC200V (50/60Hz)



株式会社アイディーディー

作成者	株式会社アイディーディー
作成日	2020年6月25日
最終更新日	2021年10月1日

目次

表紙.....	1
目次.....	2
本書について.....	2
仕様.....	2
安全上のご注意.....	3
注意事項.....	3
電気に関する安全事項.....	3
その他の安全事項.....	3
メンテナンス説明1（霜取り・冷凍サイクルユニットの清掃）.....	4
各部名称.....	4
電源の遮断方法.....	4
冷却庫内の霜取り方法.....	4
冷凍サイクルユニットの清掃.....	5
メンテナンス説明2（3か月ごとの簡易点検）.....	6
運転温度の確認.....	6
オイル漏れの確認.....	6
異常音、異常振動の確認.....	6

本書について

- ・本書は『ウルトラディープフリーザー』YFZ-1423のメンテナンス説明書です。日常のご使用において、お客様に行っていただきたいメンテナンスについてご説明いたします。
- ・本機のメンテナンスは、主に水抜きと冷凍サイクルユニットの清掃です。その他のメンテナンスが必要になった場合は、購入元までメンテナンスをご依頼下さい。

仕様

型 式	Y F Z - 1 4 2 3
温度設定範囲	- 1 2 0 ℃ ~ - 8 0 ℃
外 観	化粧鋼板+ステンレス板仕上げ
外寸法 (mm)	W 9 2 0 × D 9 3 5 × H 1 0 3 6 (突出部含まず)
内寸法 (mm)	W 6 2 0 × D 4 6 0 × H 4 7 0 (冷却有効深さ: 4 3 0)
内容積 (ℓ)	約 1 3 4 (冷却有効容積: 1 2 2. 5)
重 量 (k g)	約 2 0 5 k g
環境温湿度	周囲温度: 1 0 ℃ ~ 2 8 ℃ / 周囲湿度: 5 ~ 7 5 %
電源電圧	三相 AC 2 0 0 V 5 0 / 6 0 H z
定 格	呼称出力: 2. 2 k W / ピーク時: 約 1 1 A / - 1 2 0 ℃ 安定時: 約 9 A
消費電力	最大: 3 0 0 0 W / 安定時: 2 7 0 0 W

安全上のご注意

- ・運転前に「取扱説明書」と「安全上の注意（本説明箇所）」を充分にお読みの上、正しく使用して下さい。
- ・感電、凍傷、閉じ込めによる重大事故を未然に防ぐため、この「安全上の注意」を必ず守って下さい。
- ・「本装置」は主に「ウルトラディープフリーザー」本体、及び「冷凍サイクルユニット」を示します。

注意事項

凍傷に注意

1. 冷却庫内から物を取り出す際は、凍傷防止の手袋を使用して下さい。
運転中の冷却庫内の金属面は超低温状態で、触れると皮膚が貼りつく恐れがあります。

中に入らない

2. 冷却庫の中には入らないで下さい。冷却庫の扉は密閉度を高めるために重量があり、冷却庫内から押し上げて開くのは困難です。庫内に閉じ込められた場合、窒息や凍死の危険性がありますので、絶対に冷却庫内には入らないで下さい。

子供に注意

3. 本装置の周辺は整理整頓して下さい。特に冷却庫の手前には踏み台となるような物を置かないで下さい。幼児や子供などが冷却庫内に入ってしまった場合、窒息や凍死など、重大な事故になる恐れがあります。

電気に関する安全事項

感電注意

1. 本装置は屋内仕様です。防水仕様ではありませんので、本装置右側の冷凍サイクルユニットに雨や水などがかからないように注意して下さい。
足元に水たまりが出来ている場合は、感電に十分注意して下さい。また、電源ケーブルが水に浸ったり、水がかかったりしないように、ケーブルの取り回しに配慮して下さい。

電源を抜く

2. 運転前に本装置冷凍サイクルユニットが濡れていたり、運転中に濡れてしまった場合は、直ちに外部電源ブレーカーを遮断し、拭き取りと乾燥をするまで電源投入並びに運転は行わないで下さい。
漏電、及び感電事故、並びに火災発生の恐れがあり、大変危険です。

過負荷注意

3. ブレーカーが落ちた場合は、冷凍サイクルユニットの故障が考えられます。運転を見合わせ、電気保全のご担当に連絡し、確認を行って下さい。

電圧注意

4. 本装置の電源電圧は間違えないように注意して下さい。誤った電圧で運転を行うと、焼損や動作不良などを起こします。

アースを取ること

5. 本装置にはアースを接続して下さい。

水をかけない

6. 冷凍サイクルユニットに水などがかからないように、充分注意して運転を行って下さい。

その他の安全事項

低温注意

1. 本装置の冷凍能力は非常に強力です。家庭用の標準的な冷凍庫の数倍以上の冷凍能力であり、素手での不用意な取り扱いは凍傷などの危険がありますので、十分に注意をしてご使用下さい。

足元に注意

2. 運転中、本装置設置環境によっては、冷却庫側面や冷却庫蓋に結露が生じ、床を濡らす場合があります。床の材質によっては滑りやすくなり、転倒の危険がありますので、十分に注意をしてご使用下さい。

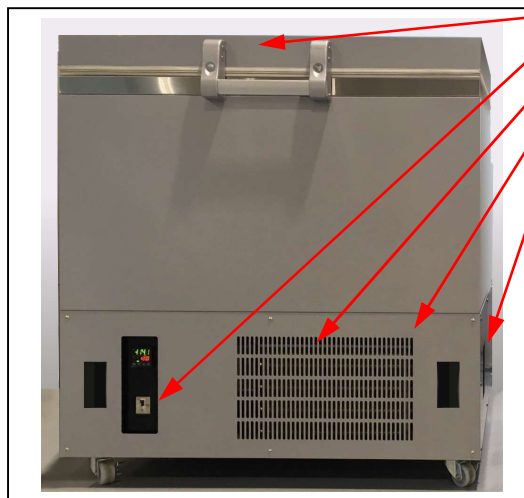
分解禁止

3. 冷凍サイクルユニットのカバーは外さないで下さい。内部には高電圧部や高圧の冷媒ガス、熱交換用のファンなどがあり、大変危険です。

※分解された場合、製品保証の対象外となります。

メンテナンス説明 1 (霜取り・冷凍サイクルユニットの清掃)

各部名称



各部の名称


- ①冷却庫
- ②ブレーカー
- ③冷凍サイクルユニット
- ④前面パネル
- ⑤ドレインカバー（右側面）

各部の説明

- ① 冷却庫：この庫内に冷凍したい物品を入れて凍結させます。
- ② ブレーカー：本装置の電源投入、および過負荷時などの安全遮断を行います。
- ③ 冷凍サイクルユニット：冷却運転を行います。
- ④ 前面パネル：フィルター清掃の際に外します。
- ⑤ ドレインカバー：排水用ホースを引き出します。

電源の遮断方法

霜取り、及び通風孔の清掃時には、必ず本機の電源を落として下さい。
ブレーカーのハンドルを下に押し下げると、本装置の電源が遮断され、運転が止まります。

 濡れた手で操作しないで下さい。感電の可能性があります、危険です。



(ブレーカー)

冷却庫内の霜取り方法

冷却庫の蓋の開閉により、外気の水分が庫内で冷却されて霜が付く場合があります。
過剰な霜の付着は庫内の冷却効率を低下させ、冷却温度や冷却時間の悪化につながります。
霜が氷状に付着した場合は、適宜に霜取りを行って下さい。

定期的な霜取り（扉の凍結による貼りつき防止）

1. 日常での霜取りは、電源を落とす必要はありません。
付属品のポリヘラの他、別途、凍傷防止用に皮手袋、霜を受けるバケツなどをご用意ください。



2. 冷却庫の扉を開け、パッキン面や庫内の壁面に付着した霜を、付属のポリヘラを使用して削り取ってください。
削り取った霜氷は、庫内に落とさずに、バケツなどに移して捨ててください。



3. 本体側のスポンジパッキン、扉側のゴムパッキンは、ポリヘラの先端で引掛けると破損する場合があります。角を立てないように丁寧に行ってください。





4. 霜が無くなれば完了です。

臨時的な霜取り（庫内の氷の除去）

1. 本機の電源を切り、冷却庫の蓋を開けて、中の被冷凍物品をすべて取出して下さい。およそ1～2時間で冷却庫内の霜が解凍し水となって冷却庫内に溜まります。
2. 庫内に溜まった水は、本体右側のドレインカバー内部にある排水ホースより排出してください。

霜取り時の注意

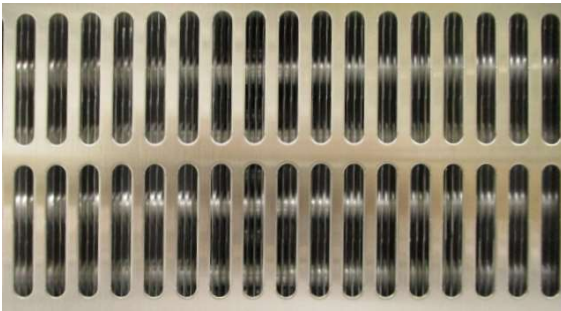
-  庫内に付着した氷を、金属工具などを使用して取り除くことは絶対にしないで下さい。庫内の変形、故障や、冷却用配管の破損により、冷媒ガスが噴出する恐れがあり、大変危険です。
-  霜取り中は冷却庫内への閉じ込まれ予防のため、踏み台になる物は周囲に置かないで下さい。

冷凍サイクルユニットの清掃

本機前面の通風孔内部には、ラジエータ状の冷凍サイクルユニットがあります。ファンにより外気を吸い込む構造のため、周囲環境によっては埃が溜まり、冷却効率が低下し、冷却温度や冷却時間の悪化につながります。定期的な掃除をし、埃を取り除いて下さい。

1. 前面パネル通風孔の掃除

前面パネルの通風孔に付着した埃やごみを取り除いて下さい。次に固く絞った雑巾で拭き取りをして下さい。



2. 内部ユニットの掃除

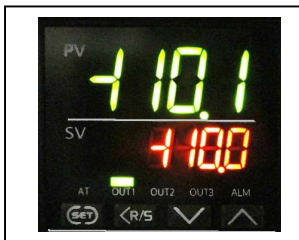
掃除機で前面パネルの通風孔より、内部ユニットに付着した埃を吸い取って下さい。

※本機や通風孔に水をかけることは絶対にしないで下さい。本機は防水仕様ではありません。内部の高電圧回路が水濡れすると、漏電や感電事故の原因となり、大変危険です。

3. 清掃が終わりましたら、ブレーカーのハンドルを上引き上げ、電源を投入して下さい。運転が始まります。

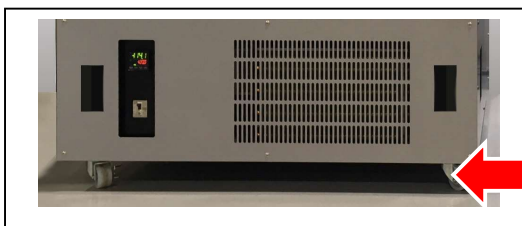
メンテナンス説明 2 (3 か月ごとの簡易点検)

運転温度の確認



冷凍庫内が空になっているか、被冷凍物品が投入されてから72時間以上が経過している時に、本機正面、左下の温度調節器を確認し、庫内温度が-110℃に到達していることを確認してください。

オイル漏れの確認



本装置設置場所の床面に、オイル漏れ等の無いことを確認してください。

異常音、異常振動などの確認

本機から異常な音や振動、発熱や焦げるような臭いなどが発生していないか、確認してください。いずれの場合も異常を感じたら、下記までご連絡ください。



株式会社エイディーディー

製造・販売元：株式会社エイディーディー

〒410-0301 静岡県沼津市宮本 25 番地の 1

TEL:055-943-6371 FAX:055-943-6372

<http://www.add-corp.jp/> mail:query@add-corp.jp